

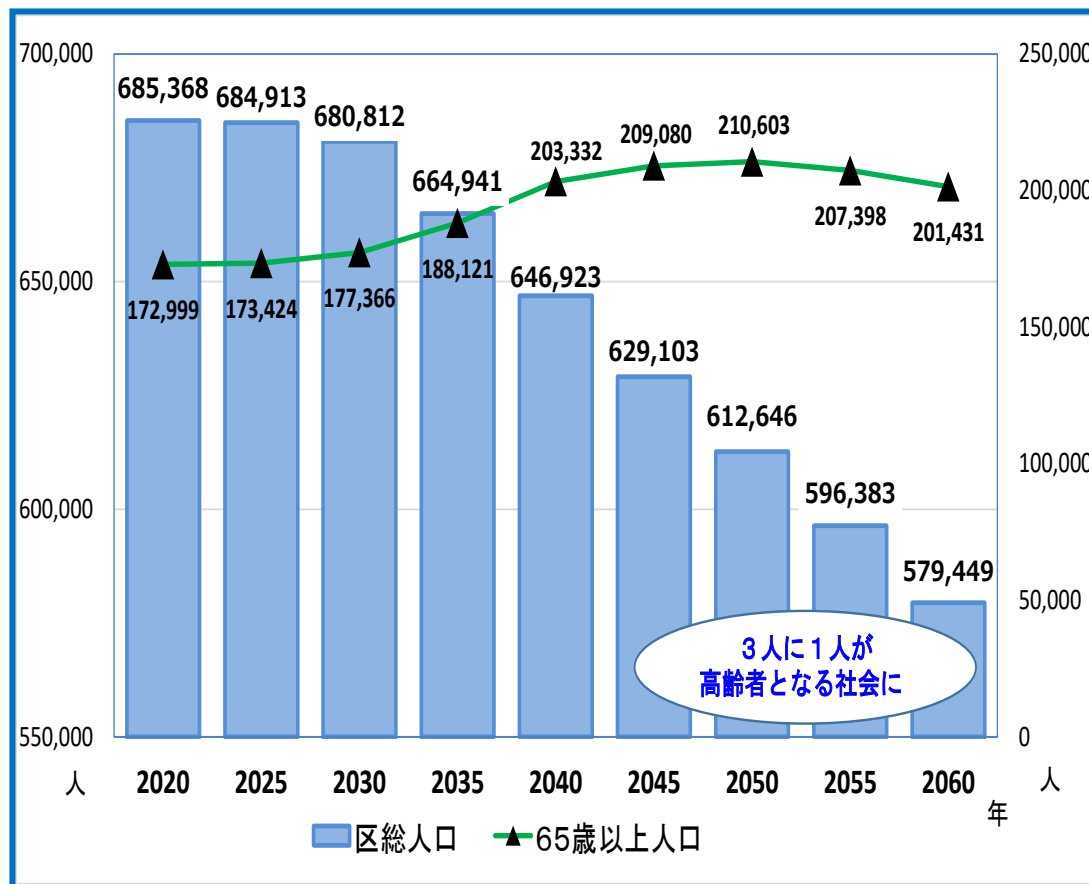
# 医療・介護の連携による 在宅療養の推進について

足立区福祉部 地域包括ケア推進課  
医療・介護連携推進担当

令和5年7月11日

## 足立区の高齢化率 **25.8%** 東京23区中 **1位** (令和4年8月現在)

### 足立区の高齢化予測



出典：足立区人口ビジョン・総合戦略（平成29年2月）（各年1月1日時点）

### <足立区総人口>

2030年頃 **68万人**

↓  
5万人【減少】

2045年頃 **63万人**

### <足立区高齢者数>

2030年頃 **17万人**

↓  
4万人【増加】

2045年頃 **21万人**

2045年頃には足立区でも **約3人に1人** が65歳以上に

# 都民の意識

(出展:保健医療に関する世論調査(東京都政策企画局)令和5年2月)

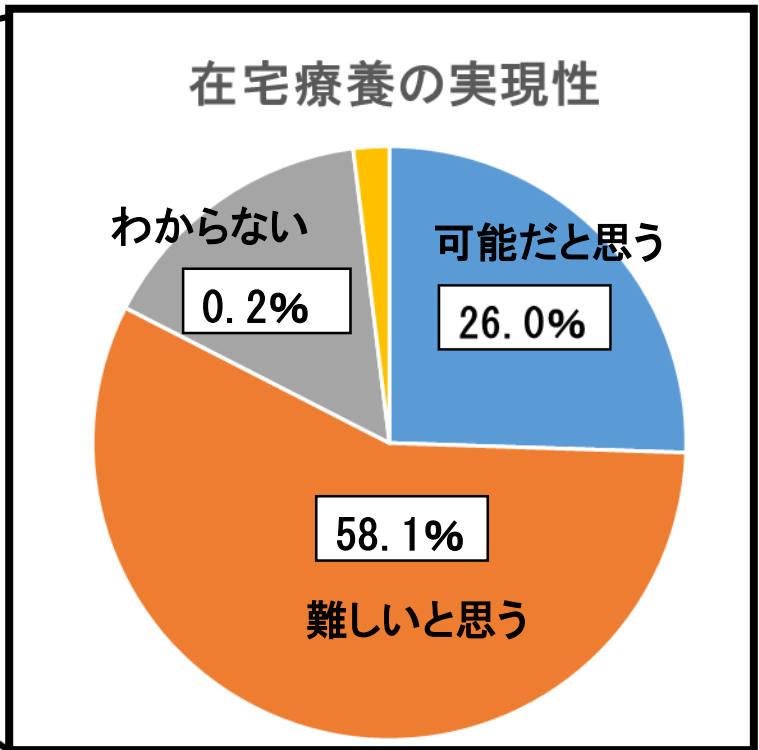
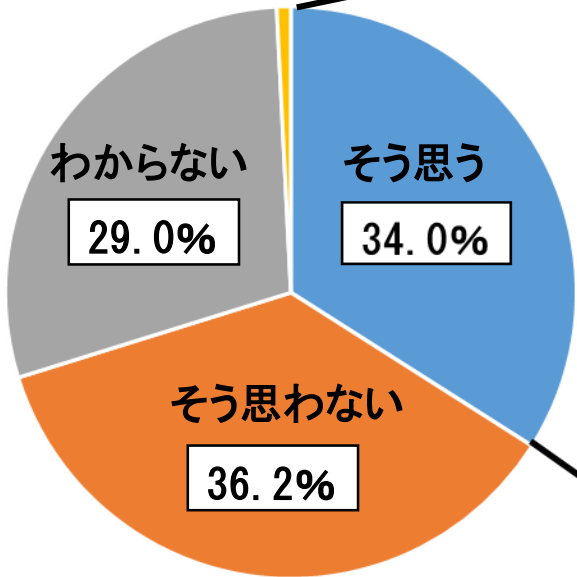
- 都民の34.0%が長期の療養が必要になった場合、自宅で療養を続けたいと思っている
- 一方、そのうち58.1%は実現が難しいと思っている。



## 自宅療養が難しいと思う理由

- ① 家族に負担をかけるから 70.7%
- ② 急に病状が変わったときの対応が不安だから 46.5%
- ③ 在宅医療や在宅看護でどのようなケアを受けられるかわからないから 34.1%

## 在宅療養の希望の有無



## 1 足立区 高齢者実態調査速報値

(問)あなたは人生の最後をどこでむかえたいですか？

1位	自宅で迎えたい	42.3%
2位	介護施設で迎えたい	3.8%
3位	医療機関で迎えたい	13.6%

## 2 東京都地域医療構想推計

在宅医療(訪問診療)の必要量

平成25年

1.5倍

令和5年

在宅療養体制の整備と普及啓発の重要性が高まっています。

～在宅療養入門～  
リーフレットをご覧ください

足立区在宅療養支援窓口

チラシをご覧ください

# 「MCS」とは？



MedicalCare STATION

- ①無料で使える
- ②操作が簡単
- ③一般の利用者が利用できる

- ①無料で使える
- ②操作が簡単
- ③医療・介護職専用(登録)  
非公開型(招待・承認)

MCSは、  
PC・スマホ・  
タブレット等  
様々なデバイス  
に対応！



# 1 メディカルケアステーションとは ?

医療・介護現場がリアルタイムでつながる多職種連携ツールです。厚生労働省が定めるガイドラインに準拠しており、非公開型SNS(招待・承認制)であるため、**高度なセキュリティ基盤を構築しています。**

# 2 メディカルケアステーションでできることは ?

## 【 在宅療養中の高齢者などについての関係者間での情報共有 】

「患者グループ」(※)に参加し、そこに情報を書き込むことで、個別に連絡しなくても関係者間で情報共有できます。※患者グループ: 特定の高齢者に関係する主治医、ケアマネジャー、介護事業者など限定のチャットルーム(タイムライン表示)

## 【 容易な多職種連携 】

電話やFAXなどの情報連携でかかっていた手間と時間を短縮できます。書き込みが時系列で残り、忙しいときは後で見たり、見返すこともできます。

## 【 全国と同じ職域や地域の医療・介護関係者とのコミュニケーション 】

メディカルケアステーション内の「コミュニティ」に参加することで、地域、専門性、疾患などの様々なテーマや目的を持った全国の医療・介護関係者と意見交換ができ、相談したり情報収集することができます。

## 【 職場内での業務に関する情報共有 】

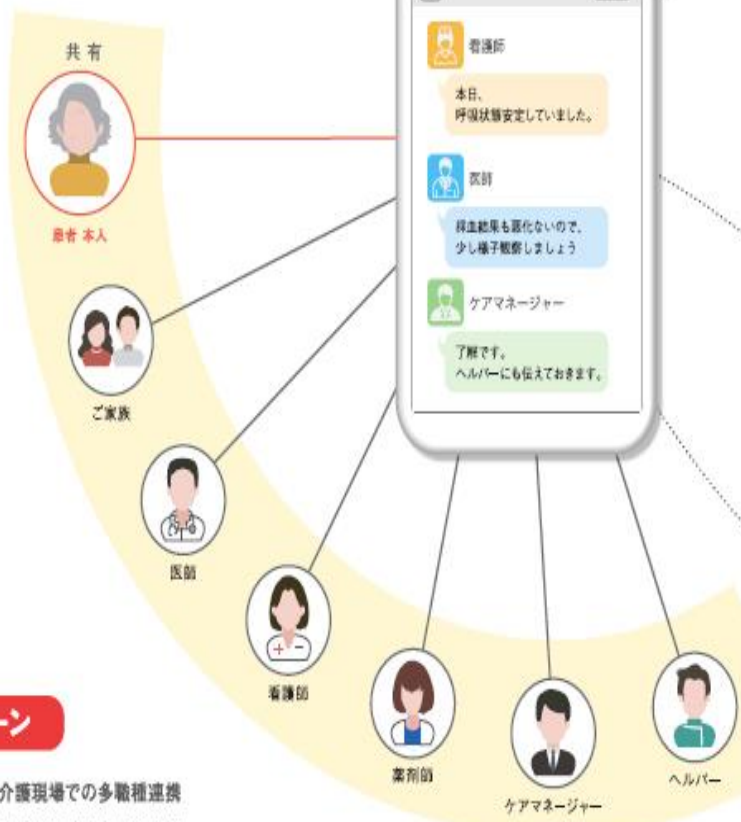
職場のメンバーで業務に関するグループを作成し、情報共有をすることができます。また、登録されている職員に個別にメッセージを送ることができます。



# メディカルケアステーション (MCS) とは

医療介護従事者、患者家族のための  
完全非公開型SNSです。

今まで電話やFAX等で行われていた  
コミュニケーションをSNS上で実現することで、  
医療・介護の効率改善、質の向上を目指します。



## 利用シーン

- ・在宅医療・在宅介護現場での多職種連携
- ・医療・介護施設における職場内での共有



様々な  
デバイスに  
対応



## ご利用者の声

1日の着信件数が  
約90%減少しました。

医師

電話やFAXでは難しかった  
症状の説明も写真に撮って  
画像でMCSで共有することで  
コミュニケーションが確実に  
なりました。

ヘルパー

業務効率があがって、  
患者さんと向き合う時間が  
増えました。

看護師

訪問に来たスタッフが全員、  
私の状況をわかってくれていて安心。

在宅医療を受ける患者